

平成 31 年 1 月 16 日
東京都ミニバスケットボール連盟
栗竹 裕幸

平成 30 年度 関東ミニバスケットボール大会 派遣報告書

大会名	第 40 回 関東ミニバスケットボール大会
期間	平成 31 年 1 月 4 日 (金) ~1 月 6 日 (日)
会場	千葉県総合スポーツセンター体育館 千葉ポートアリーナ
講師	千葉県バスケットボール協会 審判委員会 指導強化部 三好 啓太 氏 中嶽 希美子 氏 中島 弘幸 氏 久保 あしみ 氏

日程	時間	スケジュール
1 月 4 日 (金)	17 : 00	審判員会議
1 月 5 日 (土)	8 : 10	審判受付
	8 : 30	1 日目審判講習会 開講式
	9 : 00	競技開始
	15 : 00	競技終了
	15 : 15	1 日目閉講式
1 月 6 日 (日)	8 : 10	審判受付
	8 : 30	2 日目審判講習会 開講式
	9 : 00	競技開始
	15 : 00	競技終了
	15 : 15	2 日目閉講式
	15 : 30	解散

参加 チーム	東京都	【男子】GROWTH LEGEND 城東 【女子】陶鎔 国分寺 MBBC
	神奈川県	【男子】川上北ブルーデビルズ 森の台ビクトリー 【女子】武山 大正
	埼玉県	【男子】越谷ウインズ 鳩ヶ谷桜 【女子】所沢ライオンズ 幸松
	群馬県	【男子】沼田北 伊勢崎あずま南 【女子】箕郷 MBS みどり笠東
	茨城県	【男子】大洗 菅谷東 【女子】十王 龍ヶ崎
	栃木県	【男子】姿川第二 峰 【女子】宮の原 城山
	山梨県	【男子】八代 WEST BOYS 【女子】山中湖東 敷島南
	千葉県	【男子】八栄 海神南 鴨川 習台二 【女子】百合台 浦安高須 国分寺台 ジュニアファイブ

講義 千葉県バスケットボール協会 審判委員会 指導強化部 中島 弘幸 氏

「2PO メカニクスの確認」

ミニバスケットボールの選手たちは「未来の B リーガー、WJBL 等のプロ選手」を目指す子供たちが沢山いる。ミニバスケットボールに関わる審判員は「正しい理解の元、正しい技術を教える」ことにより、子供たちに「夢への力添え」をする任務がある。

【メカニクス】

- ・2PO では 3PO と比較して、1 人の審判が 1.5 人分の役割を果たさなければならない。
- ・2PO の特性として、審判のいるサイドの反対側には「穴」が出来てしまう。そのため、センターのいないボールサイドはダッシュで戻る。
→トレイル可動域が広いので、体の向きを工夫することが求められる。リードはペイントを逃さないこと。
- ・2 人の視野が重なりがち。ボールウォッチャーにならないようにすること。またボールだけでなく、次のレシーバーも知っておくこと

【プレゼンテーション】

- ・何事においても、ミニバスだから「まあまあ…」とせず、きちんと丁寧に吹くことが大切である。
- ・コーチの過度またはスポーツマンらしくないアピールについては毅然とした態度で対応をする。（警告またはテクニカルファウルも必要）
→試合の「商品価値の低下」を防ぐ
- ・NF から UF にアップグレードする場合は、まずはクルーで寄って確認をする。クライテリア 1～クライテリア 5（以下：C1～C5）に抵触する確証がある場合は、2 人の確認を待たずに判定をしたレフリーが自信を持ってコールをする。
- ・声を使って、パートナーや TO をアシストする。伝達するのに非常に有効な手段である。

【ガイドライン】

- ・FOM の見極め
- ・ファウルの成立（マージナル or イリーガル）
- ・スクリーンプレイ（①止まっていること、②両足が床についていること、③シリンダーの中であること）
- ・Block or Charge … インパクトの大きなコンタクトは鳴らないことが無い様に！
- ・プロテクトシューター（着地するまでを見極める）
- ・UF（C1～C5 の確認、ミニバスでは C4 と C5 は整合性を十分に確認すること）

担当試合①			
カード	CC/U	パートナー	主任
【予選リーグ】 宮の原（栃木県 1 位）－龍ヶ崎（茨城県 2 位）	CC	U：内藤 敦子 氏 (山梨県)	宇田川 晶彦 氏 (神奈川県)
ミーティング内容			
・スローインにすべきハンドチェックのファウルをタイムリーに鳴らさなかったことによってショットまでしてしまい、キャンセルしなくてはならないケースが出てきてしまった。			
・ミニバス特有の「予期せぬミス」で急に視野が狭くなったり、判定が困難になってしまったりすることがある。ボールが近くにある時は、近接して守っている時ほど、柔軟に対応できる距離を保てるように位置取りをする必要がある。			

担当試合②			
カード	CC/U	パートナー	主任
【予選リーグ】 習台二（千葉県4位）－沼田北（群馬県1位）	CC	U：小峰 哲治 氏 （埼玉県）	桜森 真太郎 氏 （千葉県）
ミーティング内容			
<p>・1Q、2Q、3Q と全然違うプレイスタイルのチームとなり、判定基準を示すのはなかなか大変であった。ベンチからは特にボディコンタクトでノーファウルのアピールが多かったが、一貫してシンダーを超えたコンタクトについてはファウルをコールが出来ていた。</p> <p>・バックコートのボール運びの際に度々手や体で触れたりしているが、著しくRSBQを失ってはいないので、ノーコールでも良いケースがいくつかあった。</p>			

担当試合③			
カード	CC/U	パートナー	主任
【2位リーグ】 鳩ヶ谷桜（埼玉県1位）－菅谷東（茨城県2位）	CC	U：清水 汐美 氏 （群馬県）	中島 弘幸 氏 （本部）
ミーティング内容			
<p>・試合開始すぐのビッグマンのポストプレイのオフenseファウルの基準であれば、4Q 終了間近のプレイも同じようにオフenseファウルを宣すべきであった。</p> <p>・ハンドチェックの意識は良いが、マージナルであるコンタクトも取り上げてしまっていた。スローインする際に、選手の顔を見て渡してから、コートを見るので、プレイを見ている時間が短くなってしまふ。選手の位置を把握したら、ノールックでボールを渡しても大丈夫。</p>			

担当試合④			
カード	CC/U	パートナー	主任
【1位リーグ】 浦安高須（千葉県2位）－幸松（埼玉県2位）	U	CC：赤羽 沙耶 氏 （栃木県）	飯島 祐紀 氏 （茨城県）
ミーティング内容			
<p>・トレイルでエリア3の高位位置からの1on1でサイドライン側にドライブするケースでコールすべきファウルをコール出来なかった。相手がいるリードからは捉えやすいが、コールするには難しい距離。2POの難しさではあるが、トレイルが見に行かなくてはいけなかった。</p>			

総合所感

今回、関東ミニに参加させて頂き、各県の審判員の皆さんと交流することが出来ました。非常に印象的だったのは、私たちの判定の1つ1つが選手たちの「夢への力添え」になる、ということです。ミニ連の審判員として、「子供（選手）たちの夢への力添えのために」という考えを全員で共有することが出来たことはとても重要な時間になったと感じています。また成長期の年代で体格差の幅が非常に広いこともあり、大人顔負けのエキサイティングなプレイが非常に多く、また接戦となる試合も多かったため冷静さを保ち、1試合を通して1つ1つ正しい判定を試合開始から終了まで積み重ねる難しさを感じました。講義で学習した2POメカニクスの確認事項や頂いた反省を元に、自身のスキル向上につなげていきたいと考えています。

最後に開催県としてお世話になりました、千葉県の上野啓太審判長をはじめ、講師の先生方、千葉県の皆様、快く送り出して頂いた東京都ミニバスケットボール連盟の皆様へ厚く御礼申し上げます。また「関東はひとつ」を合言葉に、3日間で多くのことを共有した関東ミニバスケットボール連盟の仲間にも感謝しています。ありがとうございました。

■全国ミニバスケットボール大会の様な4面コートに大人も子供も意気高揚していました（千葉ポートアリーナ会場）



■ピックマンや身体能力に優れた選手が多く、エキサイティングなプレイがとても多かった様になります

